順慶寺だより

印刷・発行　順慶寺
2024年（令和６年）
3月号
VOL.365

二十一組門徒会研修（令和6年2月6日・順慶寺本堂にて）

◆◇ 新しいスタイルの法話 ◇◆

2月6日に、順慶寺で行われた門徒会研修では、講師の稲前恵文氏がプロジェクターを使って法話をされた。予め決められた内容をきちんと話し終えるには、プロジェクターを使って説明した方が分かりやすい。黒板を使ったスタイルとは違った、新しいスタイルの法話が繰り広げられた。

今月の釈尊の言葉

人は他人を浄めることはできない

◆ダンマパダ（法句経）第一六五偈より

ぬれぎぬを着させられても、普段の行いの良い人は、良い方向にいく。日常の行いの大切さを説く一段です。

◇ 心を浄めるのは自分の行いから ◇

今月の釈尊の言葉は、「ダンマパダ」から、

「みずから悪をなせば
みずから汚れ
みずから悪をつつしめば
自ら浄まる。
汚れるも、浄まるも、
各自の行いしだいであり
人は他人を浄めることはできない。」

（第一六五偈）

からの出典です。

自分から悪をつつしめば自らの心は清らかになる、考えてみれば当たり前のことです。しかし、私たちの日常は、周りに流されたり、長いものに巻かれたりしながら、悪いことだとは分かっていながらも同調してしまうことが多いのではないでしょうか。

今月のところは、釈尊の時代のある在家信者の話から出ています。

ある熱心な信者が、夜じゅう法話を聞き、朝方に帰ってくることがありました。そのとき、泥棒たちが通りかかり、悪さを見つかったと勘違いをして、盗品を置いていきました。信者が突然のことに困惑していると、偶然に釈尊のお弟子たちが通りかかり、

「法話を聞くようなフリをして、実は、盗みを働いたのだろう。とんでもないヤツだ！」

と信者を打ちのめしました。

そこへ、朝の支度に水くみきた女たちがやってきて、弟子たちに、毎日真面目に法を聞いていた信者のことを話し、盗みをする人ではないと説得し、信者は、難を逃れることができました。

そのとき、釈尊は、

若院のテーマカット　NO.58

「悪い行いをすれば、汚れます。善い行いをするものは、清らかな境地に入り、自ら浄まるのです」

と答えたといいます。

◇煩悩は我が身を知る鏡◇

恩師・①幡谷明先生が、学会で講演された際、引用されたエピソードがあります。それは、世界的仏教学者である②鈴木大拙先生と石川県小松市の信者森ひなさんとの会話です。

(大拙先生)「ここに、わが機ながめりゃあいそもつきる、という歌があるが、こりゃ、あんたの煩悩やろ。朝から晩まで出る煩悩のことを、あんた言いなさるんやろうさけ、この煩悩、半分ワシにわけてくれんか」。

(ひなさん)「こりゃあげられん。…この煩悩あればこそ、この煩悩、照らされてはあゆましてもろうとるがや。十劫の昔から、この煩悩にかかりはててくださった親さまやも、いまがいまとて、この煩悩とは、ほんとうにあさましい横着なもんや。その煩悩、見せてもろうては懺悔させてもろうとるさけ、あんたにわけてあげられん」。

(大拙先生)「ああそうじゃ。あんたにわけてもらわんでも、ワシヤあんたよりか、二倍も三倍も煩悩もっとるぞ。いのちのあるかぎり、この煩悩見せてもろうていこうね。…、尊いこと聞かしてもろうた。」

私たちは、日々煩悩を丸抱えで生きています。そして、周りを見ては、思わず愚痴のでる我が身です。賢明な人は、この身を何とかしようとするのかもしれません。

しかし、実は我が身のことは、深く親さまが見ていてくださっていた。その心が、我が身を浄めるのでしょう。

①【幡谷明】
昭和3年（1928）島根県浜田市真宗大谷派顕正寺に生まれる。大谷大学文学部を卒業、昭和47年大谷大学教授就任。安居次講、安居本講を務め、平成2年文学博士。その後、大谷大学名誉教授、真宗大谷派講師・董理院董理に就任。令和3年逝去（満93歳）。令和5年より、『幡谷明講話集』全七巻が法蔵館より刊行される。

②【鈴木大拙】
本名は貞太郎。明治3年（1870）年、金沢藩藩医の四男として生まれる。日本の仏教学者、文学博士。帝国大学選科に学び、在学中に鎌倉円覚寺の今北洪川、釈宗演に参禅。神智学徒のベアトリスと出会う（後に結婚）。ベアトリスの影響もあり後年、自身も神智学徒となる。また釈宗演より「大拙」の居士号を受ける。禅についての著作を英語で著し、日本の禅文化を海外に紹介した。著書約百冊の内23冊が、英文で書かれている。文化勲章、日本学士院会員。昭和41年逝去。

3月は春のお彼岸ですけど、どうしてお彼岸には「ぼたもち」をお供えするのですか？

お彼岸のお中日は、丁度、太陽が真西に沈む日をいいます。西には、西方浄土と言って、極楽浄土があると言われています。

少し理屈の強い人に言わせれば、西にどんどん進んでも、また、元に戻ってくるだけでしょう！と言われるかも知れません。実は、そういう意味ではなく、日の沈むのを人生の暮れて行くことに見立てて、日の暮れる西の方向に、浄土があると見立てているのです。ですから、真西に日が沈むと、極楽浄土へ太陽が向かったことを思い、手が合わせられるのでしょう。

ところで、春のお彼岸には、牡丹に由来した「ぼたもち」、秋のお彼岸には、萩の花に由来した「おはぎ」を上げることを知っていますか。どちらも餅米とうるち米を混ぜて炊き、餅をつくって、餡を巻くことは同じです。ただ、小豆は秋に収穫されるため、秋には、皮ごとゆでて食べる粒あんで「おはぎ」、春には固くなった皮を取るこしあんで「ぼたもち」を作るようです。

おはぎにしてもぼたもちにしても、極楽浄土に帰られたご先祖に想いをはせ、昔は貴重品だった砂糖でつくったお菓子をお供えします。これは、私たちの大切な心です。

若院の成長日記 Growth Diary

《第四十七回　得　度》

先日、ご縁があって得度される方のお世話をすることがありました。

真宗大谷派において得度とは、僧侶になることです。

私は十一歳の時に得度をしましたが、右も左も分からず流されるように得度してしまったなあと思い返されます。

その方とお話する中で、私自身も僧侶としての生活を出来ているのだろうか、と改めて問い直す機会をいただきました。

お寺とともに「目を凝らせば」

朝、子供達の登校風景。

もはや、こんな孫ちゃんがいてもおかしくない？年齢となりました。ただコロナ後、なんとなく元気がないように思える子供たちがちょっと気になっていました。

ある朝、ゴミ捨ての帰り道、横断歩道で旗当番をされているボランティアのおじさん達に、元気よく「おはようございます！」と挨拶している子供たちの声に振り返ってしまいました。「なーんだ元気な声が出るじゃないの」と。

私が挨拶してもなかなかお返事が返ってきませんが（笑）、子供達はもうとっくに元気いっぱいなのです。

そう言えば、知らないおばちゃんから、いきなり挨拶されたら、この人だれ？と戸惑うのもあたりまえです。子供たちの様子にやっと気付けて、ホッとするやら申し訳ないやらです。

子供を見守る目線が足りなかったようです。

令和五年度 下半期 定例責役総代会開催

令和6年度・総代要求事項決まる

さる、2月16日、順慶寺にて下半期・責役総代会が開催されました。

主な議事は、令和5年度護寺会会計報告、令和6年度要求事項、令和6年度事業計画について。

令和5年度会計報告

令和5年度護寺会会計報告は、護寺会会計の神谷昭好氏より報告があり、寺院葬儀、祠堂金、須弥壇収骨などが少ないことへの懸念がしめされましたが、役員からは特に質問などなく了承されました。

令和6年度要求事項

続く、令和6年度要求事項では、現在事務局に報告されている内容を、事務局から出されました。内容は以下の通り。

①本堂南側スロープの床板の張替

寺カフェなどで多くの方が利用するようになったが、木材の節などに引っかかり、危険があることから、全面的に張替をする。

②書院・玄関の襖張替

大法要などでお抹茶接待を開始したが、襖に手垢や破れた箇所があるため、張替をする。

③境内排水溝の一部変更

境内の排水工事は令和5年度に実施したが、一部、境内トイレ前などのグレーチングの目が粗く、落ち葉が多量に入り込むことがあるため、落ち葉対策用グレーチングに変更する。

④鐘楼の撞木修理

鐘楼は、自動撞木で朝夕に打撞されているが、撞木の接触部分が割れて剥落してしまったので、補修が必要である。

以上、事務局から説明がありました。また、役員から、消火器、駐車場等の案内板がないので、是非設置して欲しいとの意見が出され、四点の要求に、案内板等の要求を加えた五点を令和6年度要求事項としました。

令和6年度事業計画

続いて、令和6年度事業計画も審議されました。令和5年度よりコロナ明けの平常の事業となり、令和元年度の事業を始めることで了承されました。令和6年度は、バス旅行も再開したいとの意見がありました。

その他、公開講座の講師が現在選定中であること、能登半島地震の募金箱を本堂に設置したこと、順慶寺の耐震対策や諸堂の耐震強度などについて、活発な意見交換がなされ、およそ二時間の会議を終了しました。

ホットひとといき

ハスの植え替え作業 東屋でひといき

さる、2月5日、雨天のなか、ハスの植え替えが実施されました。

雨にうたれ大変な寒さのところを合羽を着ての作業で、皆さんの消耗が大変でした。そのため、作業が一段落したところで、ゆっくりと境内の東屋で休憩していただきました。

植え替え作業を終えた皆さん(東屋にて)

2月度護寺会物故者

玲観院釋尼殊妙
1月28日寂　鈴木れい子(97)
山ノ端組　鈴木和夫様の母

釋隆道
2月10日寂　青山　隆(78)
泉田町　青山尚幸様の父

釋尼正淳
2月1日寂　岡本正子(96)
豊田市　岡本好裕様の母

釋勇駿
2月14日寂　堤　勇　(93)
知立市　堤　英光様の父

釋性潔
2月8日寂　服部　潔(73)
東浦町　服部圭祐様の父

宝土院釋尼美香
2月17日寂　加藤土美子(90)
安城市　竹本恒裕様の叔母

編集部短信

◆**惣骨塔拡張工事開始**＝3月より、順慶寺南側墓地にある惣骨塔が利用者の急増により、銘板をはめるスペースが足りなくなってきたことから、惣骨塔隣の敷地に拡張工事を開始する。施工業者は、南側墓地の改修をした、岡崎市の中伊石材が担当。

◆**能登地震募金箱設置**＝2月より、能登半島地震の被災地救済金の募金箱を順慶寺本堂に設置した。集まった募金は、当面、三ヶ月おきに東本願寺を通じて、被災地に送る予定。

◆**二十一組門徒会研修開催**＝2月6日、二十一組門徒会研修が順慶寺にて開催。所属の七ヶ寺から門徒会員が出席し、三十名ほどの参加となった。

編集雑記

2月末、責役のお宅に法事に上がらせていただきました。先々代から順慶寺にはご縁の厚いお宅で、法事もきちんと勤めていただき、今回は先々代ご夫婦の五十回忌のご縁。大勢のお孫さんがすべて集まり、全員で正信偈を大きな声であげていたのを聞きました。かつては、どこの家でも当たり前だった法事の風景ですが、やはり、これが家の力だと再認識しました。(住)

……

花粉が飛び始めました。花粉症の人につらい季節です。私の場合は、鼻水はそれほど出ませんが、目がしょぼしょぼです。目のかゆみを我慢しながら、春の訪れを感じるこの頃です。(若)

編集・発行人　池浦裕哉
印刷・発行所　順慶寺内
真宗大谷派順慶寺　郵便番号　四四八―〇〇〇四
愛知県刈谷市泉田町池之浦三
連絡　電話　〇五六六(二二)一九三四
FAX　〇五六六(二六)五六一三　郵送　郵送料毎月百円(年間千二百円)
振替〇〇八三〇―〇―一六二六九
会員　護寺会員には五百円にて一年間郵送をいたします。
インターネット　URL：http://www.junkyoji.com/
E-MAIL：support@junkyoji.com

順慶寺

3月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	金	寺カフェ(9:00～、順慶寺南落間他)	
2	土		
3	日		
4	月		
5	火		
6	水		
7	木		木－1
8	金		
9	土		
10	日		
11	月		
12	火	二十一組門徒会研修(13:30、築地町・誓願寺)	
13	水		
14	木	竹林整備(9:00～、順慶寺集合)	木-2
15	金		
16	土		
17	日		
18	月		
19	火		
20	水	春分の日	
21	木		木-3
22	金		
23	土		
24	日	護寺役員年番会(14:00、順慶寺本堂)	
25	月		
26	火		
27	水		
28	木	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺本堂)	木-4
29	金	墓地管理委員会(10:00、順慶寺)	
30	土		
31	日	護寺会会計監査(10:00、順慶寺)	

3月行事内容 詳細

二十一組門徒会研修

3月12日(火)
午後1時30分～　築地町・誓願寺
講師　石川慧悟氏(岡崎教区駐在教導)
講題　「組門徒会」とは

岡崎教区二十一組で年二回行われる門徒会研修の二回。今回は、岡崎教区で教導をされている、石川慧悟氏を迎えて、門徒会の具体的内容の説明があります。三月より、新門徒会員の任期が始まりますが、今回は、旧門徒会員の皆さまにも、参加お願いいたします。なお、講座修了後、臨時門徒会が開催されます。

護寺役員年番会

3月24日(日)
午後2時～　順慶寺本堂

四月から令和六年度が始まる前に、護寺役員と新年番を対象に会議を開催します。内容は、令和五年度の護寺会行事報告と会計報告、令和六年度行事計画などです。新年番の皆さまには、四月からの一年間の行事に対して、お手伝いをお願いする内容の説明させていただきます。

おしらせ

●誕生児初参り式について

昨年から、花祭り当日に初参り式をしていますが、本年も4月14日（日）11時から順慶寺本堂にて、誕生児初参り式及び花祭りを実施いたします。誕生児（令和5年1月～令和5年12月に誕生されたお子さん）がある方は、4月7日までに順慶寺に直接、年番のある組に属されている方は、担当年番に申し込んでください。

●21組懇親ゴルフ大会について

来る4月26日（金）、岡崎教区二十一組寺院対抗のゴルフ大会が、豊田市ロイヤルGCで開催されます。詳細は、役員（岡本英文氏、岡本高弘氏）または、順慶寺までお問合せ下さい。

●竹林整備について

花祭り当日に予定されているタケノコ掘りを前に、3月14日に竹林整備に出かけます。お手伝い出来る方は是非ご参加下さい。

じゅんこのときめき歳時記

啓蟄（けいちつ）

みなさん、今年は立春が過ぎたころからとても温かくなってきましたね。梅の花も例年より早く咲いているみたいです。

順慶寺の門かぶせの松は有名ですよね。聞くところによれば、門塀の形は、門かぶせの松を避けるように作られているとか。私の小さいころから、春先に松にお酒を上げるとか、コモをかけるとかして、害虫から守っていたのを思いだします。

コモを外すのは、啓蟄のころと聞いたことがあります。啓蟄は、冬ごもりしていた虫が這い出すころを言うそうで、その日の最低気温が5度以下にならなくなる、3月6日から3月20日ごろとされているそうです。

そう考えると、今年は2月中には啓蟄だったのかなと思います。

啓蟄や　日はふりそゝぐ
矢のごとく
高浜虚子